

武田孝之●

最近、歯科医師はワーキングプア的一种に取り上げられてきている。また、厚生労働省の国策のもと、歯科医師国家試験は資格試験からあたかも競争試験に様変わりし、毎年の合格者数もかなり制限がされてきた。このこと以外にも要素は多数あると思われるが、歯科医療分野を目指す若者が減少し、さらに、その質の低下が危ぶまれている。

一方、日本社会全体の構造変化を人口問題から見ると、ここ数年をピークに人口は減少し、それに伴い経済活動が低下傾向に向かい、さまざまな歪みが噴出することは既に織り込み済みとなっている。

このような背景のなかで、歯科大学を卒業した若手はただ闇雲に不安を抱えながら歯科医師として働き出さなくてはならない。私事になるが、今年、愚息が歯科大学を卒業し研修医として活動を開始したが、毎日研修先で患者さんに接し、治療をさせていただくなかで、問題に突き当たり悩みの毎日を過ごしている。

そんなときに歯科医院を経営してきた一人の歯科医師として、また、親として改めて話をしていることがある。重要なことは、常に患者さんを中心において考えること。一人の社会人として、また、マイナスのエネルギーをもって診療室に訪れる患者さんに接する歯科医師として、挨拶から始まり、やさしさをもって患者さんの問題を真摯に自分のこととして受け入れられるようになることを常に心がけること。そして、診療の技術的側面としては事前に予習をして十分な備えをした後に、自分の行った治療結果を観察し、フィードバックすることによってのみ技術を向上させられることを話している。

そんな折、鈴木 尚先生が書かれた本書と出会うことができた。尚先生の卓越した臨床技術の素晴らしさはもちろんであるが、何より、私塾と言っても過言ではない環境下で多くの優秀な歯科医師を社会に輩出されてきた信念に心を打たれ、読みながら何度うなずいてしまったことであろうか。

まずは歯科医師である前に社会人として自分を鍛



Welcome to Dental Office  
 デンタルオフィスナビゲーション  
 勤務医として働くということ  
 学び・技術・対応  
 鈴木 尚 著  
 B5判 112頁 定価3,675円（本体3,500円＋税5%）  
 医歯薬出版株式会社刊

えなければならないこと、そして患者さんに対応する際に気をつけなければならないことが書かれているが、この内容は歯科医師だけではなく、社会のなかで生きていく道しるべとなるものである。

さらに、自らの学ぶべき点と臨床における基礎力を身につけることについて、一段一段階段を登るがごとく確実にステップアップするための必要事項が整理されている。

一月に一回、尚先生の門下生の先生方と勉強会で時間を共にさせていただいている。その先生方と話をしていると若いながらも人間的に豊かで、何よりも歯科医療に対する情熱に感心させられる連続である。尚先生の教えを自分なりに咀嚼して努力された結果を目の当たりにすると、筆者が卒業して間もない時期であったならば、尚先生のもとで研鑽をさせていただきたいと改めて強く思う。

若手の先生方はもちろんのこと、勤務医を育てていらっしゃる先生方にも是非読んでいただきたい一冊である。

(たけだたかゆき 〒102-0094 東京都千代田区紀尾井町3-12 紀尾井町ビル2階E号 武田歯科医院 Tel : 03-3237-5755)